

## 第 15 回 チャレンジする気持ちを忘れない

～ 神奈川県高等学校英語弁論大会本選出場 ～

10月27日に県立国際言語文化アカデミアで行われた第56回神奈川県高等学校英語弁論大会本選に出場した2年佐々木さんに話を伺いました。

この大会に参加しようと思ったきっかけは何ですか。

中学校の時に日本語のスピーチの経験はあるのですが、ステージに立つと緊張して自分らしさが出せずにいました。それを克服したいという思いもあり、英語部の活動の中でこの大会の話聞き、挑戦してみようと思いました。

どんな準備をしたのですか。

まずは英語の原稿を書きましたが、長文を書く経験がなかったので苦労しました。そして、それを読んだものを録音して、提出しました。予選通過の知らせを聞いたときはとてもうれしかったです。

本選に出場できる人数は限られているので、良かったですね。本選に向けては、どんな準備をしたのですか。

発音や抑揚のつけ方など、英語の先生や、ALTのクリスティーヌ先生に指導してもらいました。英語部のメンバーにも協力してもらいました。家では家族が聞き手役として協力してもらい練習しました。人前で話す練習として、自分のクラスでもやらせてもらいました。

当日の会場の様子はどうでしたか。

会場に入ったときは、とても静かでし～んとしていて、緊張しました。他の参加者のスピーチを聞くうちに落ち着いてきました。自分のスピーチは、練習の成果が出せたのではないかと思います。

スピーチの内容を教えてください。

「Raise the saving spirit (心に節約の旗を掲げよう)」というタイトルです。世界に目を向けると、飢餓で苦しんでいる人がいる一方で、日本では食品ロスが大量に出ているという事実を伝えました。そして、その解決に向けて誰もが自宅でできることを3つ提言しました。作りすぎない、買いすぎないに加え、アメリカで普及している「ドギーバック」を広めようということです。「ドギーバック」というのは、レストラン等で食べて残った食品を持って帰るもので、利用者だけでなく店側の理解もないと実現しないものです。多

くの人の理解を得て、こうしたことが身近になってほしいと願っています。

実は、私は、小学校5年生から中学校を卒業するまでの5年間、「ヨコハマ3R夢ポスター展」に毎年出品し、入賞しています。環境問題について多くの人に知ってもらうことを目指して取り組んできたので、その延長線上で普段考えていることを盛り込みました。



手応えはどうでしたか。

これまでの自分自身の経験の中で、一番時間をかけて取り組みましたが、挑戦してみても良かったと思います。ひとつには、ステージに立って自分を表現することができたことです。また、昨日の実力テストで、英語の出来が良かったなど自分でも感じたことです。前回よりも、わかる！という実感がありました。

集中して取り組んで成果を実感できるというのは素晴らしいですね。様々な機会を捉えていろいろなことに挑戦してほしいと思います。先週は、即興型ディベートの交流大会にも参加したのですよね。



はい、英語部4人で参加しました。ディベートは限られた時間内に、自分たちの主張を英語で論理的に伝えなければなりません。私は一番最初に意見を述べる役で、肯定側のときはいいのですが、否定側になったときは、肯定側の主張を踏まえた主張をしなければならないので、大変でした。相手側から想定外の質問が来る場面では、状況に応じて対応しなければならず、思うようにいかないこともありました。

参加した皆さんは、極度に緊張した面持ちで、お互いの主張を聞きあっていましたよね。英語によるディベートで大切なことは何だと思いますか。

練習段階で、日本語を英語に置き換えるもどかしさを感じることもありますので、アドリブも含めて、英語をもっともっと学ばなければならないと思います。一方で、日頃からいろいろなことにアンテナを張り、様々な論点を蓄えておくことが必要だと考えています。

そうですね。チームで助け合うことで、豊富な論点を持って臨むことができるのも、醍醐味のひとつですね。ところで、KU(光陵ユニバース：総合的な学習の時間)では、どんなテーマで研究しているのですか。

人が最後の時を自分らしくどう迎えるか、ということをテーマにしています。医療が発達したことによって、意識がない状態のまま、本人の意思を確認できないまま、死を迎え

るケースが増えていると聞いています。今の日本では、死をどう迎えるかということについて、タブー視する傾向が強いのだと思いますが、自分の意思表示ができるうちに家族とよく話し合っておくことが重要だと考えています。定期的に話し合う場面を作る、エンディングノートを活用することなども考えられると思います。

ところで、光陵高校に進学しようと思ったきっかけは何ですか。

私は、附属横浜中学校での中学校生活はとても楽しく充実したものでした。入学当初から光陵高校との連携はもちろん知っていたので、光陵高校への進学をイメージしていました。光陵高校に入学してからは、自分の強みになるものを持ちたいと思い、いろいろなことにチャレンジしてきました。

光陵高校に入学して、どうですか。

光陵高校は、単に友達といて楽しいというだけではなく、それぞれが自分のスキルを磨くことができる環境があると思います。今、自分はとても充実していると感じています。

将来について描いていることはありますか。

数学が好きなので、それを活かせることをしたいと思います。アートにも興味があります。いずれにしても、向上心を持って自分のスキルを磨くこと、何事も恐れずにやってみようという気持ちを忘れちゃいけないと思っています。

いろいろなこと、全方向に興味を向けて活動している様子を頼もしく思います。特に若いうちは、自分の可能性を広げて行ってほしいと思います。今日は、どうもありがとうございました。